

## 北イタリア安全対策情報（2015年4月～6月）

### 1 社会・治安情勢

当地では、5月1日からミラノ万博が開催されており、開催初日はミラノ市内で、万博に反対する団体による抗議活動が行われ、治安当局に対する火炎瓶の投擲や店舗に対する損壊なども発生したが、短時間で被害発生地域の環境は回復され、その後顕著な抗議行動は発生していない。

ミラノでは万博開催に伴い治安部隊が増員されており、一般的な犯罪発生率も下がっているとの報道発表がなされている。しかし、日本人観光客や出張者などを狙った犯罪は依然として発生しており、特にミラノ中央駅及び国際見本市会場などでスリや置き引きなどによる現金及び旅券の盗難被害が発生している。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### (1) 犯罪の傾向

ミラノ周辺の観光地及びターミナル駅及び列車内における盗難被害が多く発生している。

#### (2) 邦人被害事案

当館ホームページ「日本人の被害状況」参照

#### (3) 邦人以外の被害事案

##### ア 強盗

- (ア) 4月14日、クレモナの薬局に強盗が押し入ったが、直後に通行人により取り押さえられた。
- (イ) 4月24日、ミラノ・ロメッリーナ通りの薬局に強盗が押し入ったが、警察により逮捕された。
- (ウ) 5月23日、ミラノ・チレーア通りの郵便局に強盗2人が押し入り、ナイフで支配人を脅したが、警察により逮捕された。負傷者なし。

##### イ 殺人

- (ア) 4月9日、ミラノ地方裁判所において、被告が拳銃を法廷に持ち込み、裁判官及び弁護士などを殺傷し逃走したが、警察により逮捕された。
- (イ) 5月14日、ミラノ・グレーコ地域において前妻の恋人を刺殺した男が警察により逮捕された。

##### ウ その他

- (ア) 4月26日、ミラノ・サン・ガルディーノ通りの店舗において、偽札による高級腕時計詐取事件が発生した。
- (イ) 4月26日、現職警察官を含む窃盗グループが逮捕された。グループは、偽造身分証明書及び制服を使用して被害者宅に侵入し、犯行を重ねていた。

- (ウ) 5月11日、ミラノ市内の地下鉄で少女に対する痴漢事件が発生したが、犯人は逮捕された。
- (エ) 5月23日、ミラノ・サン・パオロ通りでリュックサックのひったくり事件が発生したが、警察に逮捕され、被害品も返還された。
- (オ) 6月11日、イタリアの鉄道内で、検札時に切符の不所持を問われた男が、大型ナイフで車掌の腕を切断する事件が発生し、犯人が逮捕された。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

#### (1) 邦人被害事案

なし

#### (2) 邦人以外の被害事案

6月24日、ドウォーモ近くのビットリオ通りで少女の誘拐未遂事件が発生したが犯人は逮捕された。

### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし